# ◆2020年度　群馬県立女子大学出前講座一覧

◆受講対象者は原則として高校生以上ですが、中学生の受講にも対応できるものについては特にその旨表記をお願いします。
◆講義時間は各講座とも90分です。

| | 分野・タイトル等 | 分類1 | 分類2 | 概　　要 | 教員名 | 対象者 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 萩原朔太郎と蕪村 | 群馬を知る | ― | 群馬が生んだ近代詩の巨星萩原朔太郎は、『郷愁の詩人　与謝蕪村』(昭和11年刊)一書をもって、蕪村俳諧の詩情(ポエジィ)の本質が＜郷愁＞であることを発見し、蕪村句の＜近代性＞を鋭く解き明かしましたが、その評価は今も揺るぎません。この講座では、朔太郎の蕪村再発見のプロセスとその後の影響をたどります。 | 安保　博史 | 限定なし |
| 2 | 知られざる群馬の作家たち | 群馬を知る | ― | これまであまり知られていない群馬県出身の作家の活動や作品を紹介し、その特質について考えます。綿貫六助(昭和)、生方敏郎(沼田)、倉田潮(玉村)、大木雄二(赤堀)、中澤静雄(倉賀野)らを取り上げます。 | 市川　祥子 | 大学生・社会人 |
| 3 | 柏木義圓と世界 | 群馬を知る | ― | 柏木義圓は安中の牧師でした。田舎の柏木義圓が世界に向け何を発信しようとしたかを考えます。 | 市川　浩史 | 限定なし |
| 4 | ウォーキング歴史学のススメ－半径2kmの歴史探索－ | 群馬を知る | ― | 自宅から半径2kmというと、だいたい大字(市部では町)、おおむね江戸時代の村の範囲です。中には鎌倉時代の郷まで遡るものもあります。私たちの生活・生業にもっとも密着した最小単位の「地域」ですが、意外にも歴史資料の宝庫なのです。さあ、シューズを履き、携帯カメラをもって、歴史資料の収集にでかけましょう。 | 簗瀬　大輔 | 限定なし |